

「この人 45」

田村米生 79 歳 三重県

編集部 俳句を始められたのは？

田 村 定年退職を目前にして、先輩から「退職後は頭と体を使う趣味を持つように」とのアドバイスを受けまして、俳句と登山を始めました。

編集部 滑稽俳句の魅力は？

田 村 平成二十一年六月一日付朝日新聞で、八木会長の「滑稽俳句ルネサンス」を読んで、自分の目指す句柄であるということを確認しました。滑稽俳句は、快い笑いと心底からの元気が出る生命源であると思います。

編集部 俳句における滑稽とは？

田 村 何と言っても俳句の原点であり、人と人との相和するために必要な要素ですね。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かったことは？

田 村 ①滑稽俳句協会の会員になれたこと、②その会報で全国の会員の俳句を楽しめること、③その結果、滑稽俳句を詠む意力が湧き出すことです。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

田 村 特に言うほどのコツはありませんが、人が考えそうな事柄の反対のことを考える事です。

【代表句】

春 花見バス帰りは虎を乗せてをり
夏 過去のあるハンカチそっと日陰干し
秋 蓑虫よ真っ赤なペンキ塗ったるか
冬 俎の河豚念仏を唱へをり
新年 初鏡拭き直しても同じ顔